

かさま はっけん 笠間を再発見

リディスカバー カサマ
reDiscover Kasama!

だいにかい
第2回
ひしよち
笠間の避暑地

グローバル採用の

笠間市広報スタッフ

ナターリアが笠間の魅力を
紹介します。

文 | ザグミョンノワ・ナターリア
問い合わせ | 笠間市秘書課
(内線225)



日動美術館で休憩

だんだんとあつくなってきましたね。私の出身地は、暑い日が少ないので、日本の暑くて湿度が高い季節に疲れ、思わず涼しいところへ逃げたくなります。笠間で涼しさも楽しめるスポットを知っていますか？私にとって、それは美術館です！

笠間には、笠間日動美術館や茨城県陶芸美術館といったびっくりするほど大きい美術館があります。

笠間日動美術館は、笠間稲荷神社の近くにあり、ピカソや藤田嗣治をはじめとする国内外の有名な画家の企画展やパレット展、有名な彫刻家によるブロンズ像などが楽しめる美術館です。入ってみたら、別世界にいるようです。展示館が3館あり、庭園、屋上のカフェ、ミュージアムショップもあります。

私は猫好きなので「猫まみれ展」を見に行ったとき、美術館全館をゆっくりと楽しみ、大満足しました。3時間いましたが、見ごたえがあり、あつという間に感じました。

茨城県陶芸美術館は、笠間芸術の森公園の中にあり、人間国宝に認定された松井康成をはじめ、伝統工芸から造形的な作品、さらには日常の器まで個性豊かなさまざまな現代の陶芸作品が楽しめる美術館です。ミュージアムショップやレストランでゆっくりすることもできます。

美術館に行くまでは陶芸に興味がありませんでしたが、2年前に行われた「青磁×白磁×青白磁」の展示会で陶芸作品の美しさにとっても感動しました。それ以来何度も訪れています。

皆さん、暑さで体調を崩さないよう気をつけてください。そして、他にも笠間で涼しく楽しめるスポットがあったら、ぜひ「#笠間市民ニュース」で教えてください！



「珍しい」と思ったパレット展



県陶芸美術館での人間国宝の企画展



感動した岡部嶺男氏の青磁の花瓶

市のホームページではこの記事を英語で読めます。
WEB版（日本語・英語）▶



市の話題やニュースをSNSでシェアしよう！



#笠間市民ニュースの詳細▶

英語で
なんて言う？

今回は「笠間日動美術館」と「茨城県陶芸美術館」を英語で覚えましょう！

「笠間日動美術館」 = 「Kasama Nichido Museum of Art」

「茨城県陶芸美術館」 = 「Ibaraki Ceramic Art Museum」

Museum of Art（ミュージアム・オブ・アート）とArt Museum（アート・ミュージアム）は語順が違いますが、どちらも「美術館」という意味です。

このページは、日本語を勉強中の方も楽しめるように、「やさしい日本語」を意識してつくっています。